

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
技術倫理総論 (Engineering Ethics)	担当教員	町 泰樹 (Machi, Taiki) 林 良平 (Hayashi, Ryohei)		
	教員室	町: (TEL: 42-9043) 都市環境デザイン工学科棟 3 F 林: (TEL: 42-9044) 都市環境デザイン工学科棟 3 F		
	E-Mail	町 : machi@kagoshima-ct.ac.jp 林 : hayashi@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位 [講義Ⅱ] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (210 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
<p>[本科目の目標] 科学技術は我々に多大な恩恵をもたらしてきた一方で、多くの問題もまた生み出してきた。現在、科学技術に携わる「技術者」にとって必要なものは、その功罪を知ること、そして「科学」や「技術」の根幹部分を問い直し、「技術者として倫理的に生きる」とはどのようなことであるかを、自分自身で考え決断する態度である。昨今、技術者に求められる社会的責任は大きく、そして多様化したものであるが、歴史的・思想的背景や法的責任、そして実際に起こった事例などを多角的に検討・分析するによって、あるべき技術者の概要を捉えてゆくことが本科目の目標である。また、最低限必要な、論文・レポート作成能力の育成も、本科目の大きな目標のひとつである。</p>				
<p>[本科目の位置付け] 本科目はこれまでの人文科目 (主に社会科目) で学んだ基礎的教養をもとに、技術者としての自覚と責任を再認識するためのものであると同時に、専攻科 2 年次の「技術倫理」とも関連する科目である。</p>				
<p>[学習上の留意点] 講義内容を理解するために、毎回、前回の講義を参考に 2 時間程度の予習をし、授業時間での質問等に対応できるようにしておくこと。また、講義終了後は、復習として 2 時間程度の演習問題等の課題に取り組むこと。疑問点があれば、その都度質問すること。</p>				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 設計と効用 (林)	11	<input type="checkbox"/> 技術者の設計とその社会的意義について理解できる。	<input type="checkbox"/>	・設計と経済効果の問題について、図書館の文献やインターネット等で事前に調べ、概略を理解しておく。
2. 科学哲学概論 (町)	11	<input type="checkbox"/> ポパーの反証可能性など、科学哲学上の論争の意義について理解する。	<input type="checkbox"/>	・左の項目について、図書館の文献やインターネットで概略を理解しておく。
3. 技術者と実務上の諸問題	6	<input type="checkbox"/> 技術士の観点から、技術者の関係する実務上の諸問題とその解決法を理解する。※技術士の講義と演習形式の授業の組み合わせで実施する。	<input type="checkbox"/>	・「技術士」という資格、およびその社会的意義について、図書館の文献やインターネット等で事前に調べ、概略を理解しておく。
——期末試験—— 試験答案の返却・解説	2	授業項目 3 の内容について達成度を確認する。 各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する (非評価項目)。		
[教科書] なし				
[参考書・補助教材] 授業時配布プリント等				
[成績評価の基準] 各担当教員の実施する試験またはレポート課題から総合的に評価する。				
[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 4-a				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 4-2				
[JABEE との関連] 基準 1 (2) (b)				
[教育プログラムの科目分類] (1)①				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ A 群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
保 健 体 育 (Physical Education)	担当教員	北菌 裕一 (Kitazono, Yuichi) 堂園 一 (Douzono, Hajime) 山崎 亨 (Yamasaki, Toru)	
	教員室	体育館 2 階 (TEL&FAX : 42-9065 または 42-9066)	
	E-Mail	kitazono@kagoshima-ct.ac.jp	
	教育形態/単位の種別/単位数	講義・実習 / 履修単位 / 1 単位	
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 15 回		
[本科目の目標] 運動の合理的な実践と健康についての基礎的な事項について科学的な理解を深め, これらに基づいて自ら進んで積極的なスポーツ活動への参加と, 健康の保持増進に関する問題を解決する能力を養う。			
[本科目の位置付け] 心身共に健康な技術者としての身体の基礎づくり。体育・スポーツ活動の実践を通して, 相手の立場に立ってものを考え, グローバルに活躍できる人間性の育成。			
[学習上の留意点] 教科書「運動と健康の科学」及び参考書「マイ・スポーツ」の授業に関連するところを読み理解すること。実技においては, 教材 (運動場・体育館) を考えて正しい服装と, 体育用具等の管理, 安全に十分留意すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. オリエンテーション	2	<input type="checkbox"/> (1) 選択制授業のガイダンスを理解することができる。 <input type="checkbox"/> (2) AED (自動体外式除細動器) の取り扱い方法と一次救命処置が理解できる。	参考書「マイ・スポーツ」による
2. スポーツテスト	4	<input type="checkbox"/> (1) 運動能力テストと体力診断テストを実施し, 自己評価ができる。	
注) 選択制 10 : 授業項目 3~12 については, 各種目 10 時間をワンセットとして, 種目選択の機会を 2 回設定する。従事時間合計 20 時間 (=10 時間×2 種目)。			
3. バレーボール	選択制 10	<input type="checkbox"/> (1) パス, スパイク, サービスができる。 <input type="checkbox"/> (2) 1・5 フォーメーションゲーム, 審判を行うことができる。	P187-P207 の内容について, 特に集団技能の練習法とチームフォーメーションを理解しておく。
4. テニス	選択制 10	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術練習: グリップ, ラケットワーク, ストローク, サービス, ネットプレイ <input type="checkbox"/> (2) ゲームの進め方, 審判法, ゲーム (シングル, ダブルス)	P209-P218 の内容について, 正規のシングル, ダブルスの戦術的理解とゲームの進め方を理解しておく。
5. ソフトテニス	選択制 10	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能 : ストローク, サービス, ボレーができる。 <input type="checkbox"/> (2) 雁行陣・平行陣のゲームができる。	P219-P228 の内容について, 正式なルールにより, ペアで作戦を立ててのゲームを理解しておく。
6. ソフトボール	選択制 10	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能の復習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) ゲーム, 審判を行うことができる。	P249-P260 の内容について, 特にチームプレイの徹底を理解しておく。
7. ゴルフ	選択制 10	<input type="checkbox"/> (1) クラブの種類と構造, 握り方を理解できる。 <input type="checkbox"/> (2) スイングの基本と練習ができる。	P261-P266 の内容について, 特にプレイ上のエチケットとマナーを理解しておく。
8. サッカー	選択制 10	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術及びシュート練習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) 4・3・3 システムフォーメーションの理解とゲーム, 審判を行うことができる。	P143-P166 の内容について, 特にゲームスタイルの変遷を理解しゲームに応用できるようにしておく。
>>> 次頁へつづく >>>			

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英 語 A (English A)	担当教員	あべ松 伸二 (Abema tsu, Shinji)		
	教員室	非常勤講師控室 (Tel.42-2167)		
	E-Mail			
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義 I] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (60 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 多くの場面で使える英語表現の習得とともに工業英検 3 級、実用英検 2 級、TOEIC400 点以上の取得を目指す。				
[本科目の位置付け] 4 年次までに習得した英語(語彙・文法・読解等)を踏まえ、総合的な英語力を高める。				
[学習上の留意点] 予習・復習を十分に行い、語彙・イディオム・構文の習得に努めること。リスニングにおいては付属の CD を繰り返し聞いて、リスニング力を強化すること。なお、本科目は学修単位 [講義 I] 科目であるため、指示内容について 60 分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
オリエンテーション	1			
1. Preparing for the Trip	3	□ 授業項目 1~4 において語彙・構文・基本表現が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキストの演習問題、単語・語句を調べ、英文の内容を理解し、リスニングを行う。
2. On the Airplane	3			
実用英検 2 級対策	2			
3. Arrival and Passport Control	3			
4. Banking and Leaving the Airport	3			
—前期中間試験—	2	授業項目 1~4 について達成度を確認する。試験において誤った部分を理解できる。	<input type="checkbox"/>	
試験答案の返却・解説				
5. Checking into the Hotel	3	□ 授業項 5~8 において語彙・構文・基本会話表現が理解できる。	<input type="checkbox"/>	
6. Hotel Facilities	3			
TOEIC 対策	2			
7. Let's eat!	3			
8. Sightseeing	3			
—前期期末試験—	2	授業項目 5~8 について達成度を確認する。試験において誤った部分を理解できる。	<input type="checkbox"/>	
試験答案の返却・解説				
9. Making Small Talk	3	□ 授業項目 9~12 において語彙・構文・基本表現が理解できる。	<input type="checkbox"/>	
工業英検 3 級対策	2			
10. Shopping	3			
11. Feeling Sick	3			
12. Getting Around	3			
—後期中間試験—	2	授業項目 9~12 について達成度を確認する。試験において誤った部分を理解できる。	<input type="checkbox"/>	
試験答案の返却・解説				
13. Checking Out of the Hotel	3	□ 授業項目 13~15 において語彙・構文・基本表現が理解できる。	<input type="checkbox"/>	
14. Heading Home	3			
15. Talking about Your Trip	3			
—後期期末試験—	2	授業項目 13~15 について達成度を確認する。試験において誤った部分を理解できる。	<input type="checkbox"/>	
試験答案の返却・解説				
[教科書] Simply Traveling-Communication Anytime, Anywhere!- Diane H. Nagatomo, 村瀬文子 金星堂				
[参考書・補助教材] 配布プリント				
[成績評価の基準] 中間試験及び期末試験(70%) + 小テスト・提出物(30%) - 授業態度(上限 10%)				
[本科(準学士課程)の学習・教育到達目標との関連] 2-b, 4-b				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 2-3, 4-3				
[JABEE との関連] 基準 1(2)(a), 基準 1(2)(f)				
[教育プログラムの科目分類] (1) ②				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次・通年・A 群		
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン		
英 語 A (English A)	担当教員	佐藤哲三 (SAITO, Tetsuzo)		
	教員室	非常勤講師控室 (Tel.42-2167)		
	E-Mail	ttz-satou@healthcare-m.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義/学修単位 [講義 I] /2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (60 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する。			
〔本科目の目標〕 英検2級以上取得, TOEIC450点以上獲得, 工業英文を正しく読み書きできる基礎的な事項を習得することを目標とする。				
〔本科目の位置付け〕 英検2級以上取得, TOEIC450点以上獲得, 工業英文を正しく読み書きできる英語力を養うための学習コース。 4年生までに習得した英語(語彙、文法、読解等)の復習及び発展・強化を主軸とする。				
〔学習上の留意点〕 Slow and steady wins the race! 少しずつでもよい, 毎日英語学習に時間を割いて予習ノートを作成しておき, その予習ノートに加除修正したものを毎授業終了時に提出のこと。なお, 本科目は学修単位[講義 I] 科目であるため, 指示内容について60分程度の自学自習(予習・復習)が必要である。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. テキスト(Chapter 1 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(1)	1	(Chapter 1 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 1 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(1)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(1)
2. テキスト(Chapter 2 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(2)	1	(Chapter 2 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 2 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(2)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(2)
3. テキスト(Chapter 3 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(3)	1	(Chapter 3 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 3 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(3)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(3)
4. テキスト(Chapter 4 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(4)	1	(Chapter 4 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 4 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(4)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(4)
5. テキスト(Chapter 5 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(5)	1	(Chapter 5 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 5 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(5)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(5)
6. テキスト(Chapter 6 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(6)	1	(Chapter 6 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 6 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(6)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(6)
7. テキスト(Chapter 7 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(7)	1	(Chapter 7 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 7 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(7)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(7)
--- 前期中間試験 ---		授業項目 1~7 について達成度を評価する		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/>	
8. テキスト(Chapter 8 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(8)	1	(Chapter 8 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 8 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(8)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(8)
9. テキスト(Chapter 9 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(9)	1	(Chapter 9 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 9 前半)
	1	英検 2 級レベル英語読解(9)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(9)
10. テキスト(Chapter 10 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(10)	1	(Chapter 10 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 10 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(10)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(10)
11. テキスト(Chapter 11 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(11)	1	(Chapter 11 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 11 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(11)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(11)
12. テキスト(Chapter 12 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(12)	1	(Chapter 12 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 12 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(12)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(12)
13. テキスト(Chapter 13 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(13)	1	(Chapter 13 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 13 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(13)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(13)
14. テキスト(Chapter 14 前半) 英検準 2 級レベル英語読解(14)	1	(Chapter 14 前半)が理解できる。	<input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 14 前半)
	1	英検準 2 級レベル英語読解(14)が解ける。	<input type="checkbox"/>	英検準 2 級レベル英語(14)
--- 後期期末試験 ---		授業項目 8~14 について達成度を評価する		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)	<input type="checkbox"/>	

[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
15. テキスト(Chapter 1 後半) 英検 2 級レベル英語読解(1)	1 1	(Chapter 1 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(1)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 1 後半) 英検 2 級レベル英語(1)
16. テキスト(Chapter 2 後半) 英検 2 級レベル英語読解(2)	1 1	(Chapter 2 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(2)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 2 後半) 英検 2 級レベル英語(2)
17. テキスト(Chapter 3 後半) 英検 2 級レベル英語読解(3)	1 1	(Chapter 3 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(3)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 3 後半) 英検 2 級レベル英語(3)
18. テキスト(Chapter 4 後半) 英検 2 級レベル英語読解(4)	1 1	(Chapter 4 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(4)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 4 後半) 英検 2 級レベル英語(4)
19. テキスト(Chapter 5 後半) 英検 2 級レベル英語読解(5)	1 1	(Chapter 5 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(5)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 5 後半) 英検 2 級レベル英語(5)
20. テキスト(Chapter 6 後半) 英検 2 級レベル英語読解(6)	1 1	(Chapter 6 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(6)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 6 後半) 英検 2 級レベル英語(6)
21. テキスト(Chapter 7 後半) 英検 2 級レベル英語読解(7)	1 1	(Chapter 7 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(7)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 7 後半) 英検 2 級レベル英語(7)
--- 後期中間試験 ---		授業項目 16~23 について達成度を評価する		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/>	
22. テキスト(Chapter 8 後半) 英検 2 級レベル英語読解(8)	1 1	(Chapter 8 後半)が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(8)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 8 後半) 英検 2 級レベル英語(8)
23. テキスト(Chapter 9 後半) 英検 2 級レベル英語読解(9)	1 1	Chapter 9 後半が理解できる。 英検 2 級レベル英語読解(9)が解ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 9 後半) 英検 2 級レベル英語(9)
24. テキスト(Chapter 10 後半) 工業英文 (原子の構造)	1 1	(Chapter 10 後半)が理解できる。 (原子の構造) 関連英語が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 10 後半) 工業英文(原子の構造)
25. テキスト(Chapter 11 後半) 工業英文 (温度)	1 1	(Chapter 11 後半)が理解できる。 (温度) 関連英語が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 11 後半) 工業英文(温度)
26. テキスト(Chapter 12 後半) 工業英文 (大量生産)	1 1	(Chapter 12 後半)が理解できる。 (大量生産) 関連英語が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 12 後半) 工業英文(大量生産)
27. テキスト(Chapter 13 後半) 工業英文 (ダム建設問題)	1 1	(Chapter 13 後半)が理解できる。 (ダム建設問題) 関連英語が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 13 後半) 工業英文(ダム建設問題)
28. テキスト(Chapter 14 後半) 工業英文 (組立住宅)	1 1	(Chapter 14 後半)が理解できる。 (組立住宅) 関連英語が理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	テキスト(Chapter 14 後半) 工業英文(組立住宅)
--- 後期期末試験 ---		授業項目 24~30 について達成度を評価する		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)	<input type="checkbox"/>	
[教科書] Elementary English Reading & Writing 英文法から学ぶ英作と読解 佐藤哲三 ほか 南雲堂				
[参考書・補助教材] 配布する工業英文プリントと英検過去問題プリント ; 英和・和英辞典必携				
[成績評価の基準] 中間試験成績 (30%) + 期末試験成績 (30%) + 予習ノート成績 (40%) - 授業態度 (最大 10%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 2-b, 4-b				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 2-3, 4-3				
[JABEE との関連] 基準 1(2)(a), 基準 1(2)(f)				
[教育プログラムの科目分類] (1)②				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 通年 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科		
英 語 A (English A)	担当教員	塚崎 香織 (Tsukazaki, Kaori)		
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3 階 (TEL : 42-9061)		
	E-Mail	tukazaki@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 学修単位 [講義 I] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (60 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
〔本科目の目標〕 TOEIC では、日本人になじみがない英語を含んだ多様な英語リスニングが出題されます。本授業では、World Englishes の中でもイギリス英語に特化したテキストを使用し、リスニングとリーディングのスキルアップを目指します。グローバル社会の中でも使える英語力の養成を目指しています。				
〔本科目の位置付け〕 4 年次までに習得した英語(語彙・文法・読解等)を踏まえ、リスニングとリーディングの力を養う。				
〔学習上の留意点〕 ・この授業では、これまであまりなじみがなかったイギリス英語の音声を用いたリスニングを行います。リスニングとリーディングの自学自習をきちんと行い、課題への積極的な取り組みを期待します。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
オリエンテーション	1			
1. イギリス英語の特徴	5	□授業項目 1~3 について、テキストの題材をもとに、聞いたり読んだりして、英語の構造・内容について説明することができる。	<input type="checkbox"/>	教科書の内容について、読んで概要を把握しておく。
2. 天気、交通	5			
3. 人の気質	5			
4. 風景	4	□授業項目 4~6 について、テキストの題材をもとに、聞いたり読んだりして、英語の構造・内容について説明することができる。	<input type="checkbox"/>	教科書の内容について、読んで概要を把握しておく。
5. 社交の場	4			
6. 食文化	4			
— 前学期期末試験 —		授業項目 1~6 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を理解できる。		
7. スポーツ	4	□授業項目 7~9 について、テキストの題材をもとに、聞いたり読んだりして、英語の構造・内容について説明することができる。	<input type="checkbox"/>	教科書の内容について、読んで概要を把握しておく。
8. 文化	4			
9. 教育	6			
10. 文化	4	□授業項目 10~12 について、テキストの題材をもとに、聞いたり読んだりして、英語の構造・内容について説明することができる。	<input type="checkbox"/>	教科書の内容について、読んで概要を把握しておく。
11. 歴史	6			
12. 音楽	4			
— 後学期期末試験 —		授業項目 7~12 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)		
〔教科書〕 Gateway to Britain Terry O'Brian 他 南雲堂				
〔参考書・補助教材〕 必要に応じてプリント配布、辞書				
〔成績評価の基準〕 定期試験(70%) + 小テスト・提出物(30%) - 授業態度(10%)				
〔〔本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連〕 2-b, 4-b				
〔教育プログラムの学習・教育到達目標との関連〕 2-3, 4-3				
〔JABEE との関連〕 基準 1(2)(a), 基準 1(2)(f)				
〔教育プログラムの科目分類〕 (1)②				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次・通年・A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科		
英語 A (English A)	担当教員	アニス ウル レーマン (Anis Ur Rehman)		
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3 階 (TEL : 42-9059)		
	E-Mail	rehman@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義 I] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (60 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] To help students to develop the skills needed to; (i) converse with foreigners, (ii) making presentations, (iii) Oral communication				
[本科目の位置付け] This course will emphasize conversations with one another and with the teacher, listening, reading, technical writing, and presentation skills				
[学習上の留意点] Students will be expected to try to express themselves in English, be a team player, and improve their oral communications skills				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. Introduction to the course	2	<input type="checkbox"/> To understand course goals	<input type="checkbox"/>	
2. Personal Information	6	<input type="checkbox"/> To be able to introduce themselves <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 1 To understand basic grammar
3. Descriptions	5	<input type="checkbox"/> To be able to describe people <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 2 To understand basic grammar
– Midterm Presentations –		Students prepare poster presentations, and present their demos in front of the judges and students.		
4. Daily Activities	5	<input type="checkbox"/> To be able to talk about their daily activities <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 3 To understand basic grammar
5. Locations (Short test)	5	<input type="checkbox"/> To be able to talk about locations <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 4 To understand basic grammar
6. Directions (Short test)	5	<input type="checkbox"/> To be able to ask for, give directions <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 5 To understand basic grammar
– Final Presentations –		<input type="checkbox"/> Students make power point presentations <input type="checkbox"/> Technical Summary of their presentation		
Explanation of results	2	<input type="checkbox"/> To be able to understand the weak points of their technical reports, power point presentations	<input type="checkbox"/>	
7. Past Experiences	7	<input type="checkbox"/> To be able to talk about the past <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 6 To understand basic grammar
8. Jobs	6	<input type="checkbox"/> To be able to talk about jobs <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 7 To understand basic grammar
– Midterm Presentations –		<input type="checkbox"/> Students prepare poster presentations, and present their demos in front of the judges and students.		
9. Globalization (Future)	5	<input type="checkbox"/> To be able to discuss about Globalization <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 9 To understand basic grammar
>>> 次頁へつづく >>>				

〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
		>>> 前頁からのつづき >>>		
10. Shopping	4	<input type="checkbox"/> To be able to talk about shopping and prices <input type="checkbox"/> To understand relevant grammar	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	Contents of Unit 10 To understand basic grammar
11. TOEIC Test	2	<input type="checkbox"/> Practice the TOEIC test	<input type="checkbox"/>	Content from previous test
12. Presentation preparation	2	<input type="checkbox"/> To be able to talk about	<input type="checkbox"/>	
Review	1	<input type="checkbox"/> To be able to talk about their projects		
-- Final Presentations --	1	<input type="checkbox"/> Students make power point presentations <input type="checkbox"/> Technical Summary of their presentation		
Explanation of results	2	<input type="checkbox"/> To be able to understand the weak points of their technical reports, power point presentations		
〔教科書〕 English Firsthand 1 (Marc Helgesen) Longman				
〔参考書・補助教材〕				
〔成績評価の基準〕 (100%) exams – (20%) attitude				
[[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 2-b, 4-b				
〔教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 2-3, 4-3				
〔JABEE との関連] 基準 1(2)(a), 基準 1(2)(f)				
〔教育プログラムの科目分類] (1)②				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ B 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科		
法 学 I (Law I)	担当教員	松田 忠大 (MATSUDA, Tadahiro)		
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL : 42-2167)		
	E-Mail	tmatsuda@leh.kagoshima-u.ac.jp		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 [講義Ⅱ] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (210 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 技術者である前に良識ある市民たれ」というスローガンのもとに、よき技術者としてだけではなく、よき市民として現代社会において生活するために必要な法的知識および法的思考力を養う。法学概論と民事法を中心に扱い、(財)日弁連法務研究財団・(社)商事法務研究会主催の法学検定試験 4 級レベルの知識の修得を到達目標とする				
[本科目の位置付け] 本科目は、3 年次の政治経済および後学期開講の法学Ⅱとの関連がある。				
[学習上の留意点] ①この講義では、限られた時間で多くの内容を学習することになるので、毎回、予習(50 分程度)、復習(150 分程度)を行うこと。 ②六法は毎回の授業で使用するので、必ず持参すること。 ③法学検定試験問題集 4 級(2011 年度版)を購入し、予習・復習で活用することが望ましい。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
I 法学概論				
1. 法とは何か	4	<input type="checkbox"/> 法と法律、その他の社会規範との相違を理解することができる。	<input type="checkbox"/>	各授業項目について、図書館等で文献を読み、その概要を把握しておくこと。
2. 権利義務	4	<input type="checkbox"/> 法の分類、権利の意義と分類、権利の社会性について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
3. 法の適用と解釈	2	<input type="checkbox"/> 法の解釈の必要性とその種類・方法を理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
II 民法概説				
1. 総則	2	<input type="checkbox"/> 民法上の人、物の意義、法律行為、契約の意義と効果について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
2. 物権法	2	<input type="checkbox"/> 物権の種類と物権変動に関する基本的事項を理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
---前期中間試験---		項目 I -1 ~ II -2 について達成度を確認する。		
3. 債権法	12	<input type="checkbox"/> 債権の効力、契約責任、不法行為の成立要件についての基礎的事項を理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
4. 家族法	2	<input type="checkbox"/> 婚姻・離婚の意義、相続の意義について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
---前期末試験---		項目 II -3 ~ II -4 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] なし				
[参考書・補助教材] 六法、法学検定試験問題集4級 (2011年度版)				
[成績評価の基準] 中間・定期試験(70%) + レポート(30%)				
[本科(準学士課程)の学習・教育到達目標との関連] 1-a, 4-a				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 4-1				
[JABEEとの関連] 基準1(2)(a), 基準1(2)(b)				
[教育プログラムの科目分類] (I)①				

Memo

平 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 後期 ・ B 群			
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科			
法 学 II (Law II)	担当教員	松田 忠大 (MATSUDA, Tadahiro)			
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL : 42-2167)			
	E-Mail	tmatsuda@leh.kagoshima-u.ac.jp			
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位 [講義 II] / 2 単位				
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (210 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する				
[本科目の目標] 技術者である前に良識ある市民たれ」というスローガンのもとに、よき技術者としてだけではなく、よき市民として現代社会において生活するために必要な法的知識および法的思考力を養う。法学 I との関連において、法学 II では、商取引法を中心に取り扱い、現代ビジネスに必要な基礎知識を身につける。					
[本科目の位置付け] 本科目は、3 年次の政治経済および後学期開講の法学 I との関連がある。					
[学習上の留意点] ①この講義では、限られた時間で多くの内容を学習することになるので、毎回、教科書等を参考に予習 (50 分程度)、復習 (150 分程度) を行うこと。 ②六法は毎回の授業で使用するので、必ず持参すること。 ③法学検定試験問題集 4 級 (2009 年度版) を購入し、予習・復習で活用することが望ましい。					
[授業の内容]					
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容	
1. 商人間の売買 (1) 国内売買の形態 (2) 契約の成立とその履行 (3) 国際売買概説	2 2 2	<input type="checkbox"/> 商事売買の多様性及び特色を理解することができる。 <input type="checkbox"/> 契約の成立要件、商品引渡、受領について理解できる。 <input type="checkbox"/> 国際売買契約の成立要件、売買条件、契約条件への不適合と買主の救済制度について理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	各授業項目について、図書館等において文献を読み、その概要を理解しておく。	
2. 消費者売買 (1) 消費者契約 (2) 販売信用取引 (3) 特定商取引	2 2 2	<input type="checkbox"/> 消費者売買契約の意義と消費者契約法の概要を理解することができる。 <input type="checkbox"/> 信用取引の概要および割賦販売、ローン提携販売等に対する法規制について理解することができる。 <input type="checkbox"/> 特定商取引契約の意義・態様および法的規制の概要を理解することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
3. 企業金融 (1) 荷為替信用状取引 ---後学期中間試験---	2	<input type="checkbox"/> 荷為替信用状の意義および信用状取引当事者間の法律関係を理解することができる。 項目 1~3 (1) について達成度を確認する。	<input type="checkbox"/>		
(2) ファイナンス・リース	2	<input type="checkbox"/> ファイナンス・リース契約の意義、契約の成立、契約条項について理解することができる。	<input type="checkbox"/>		
4. 商品サービスの流通に関する営業 (1) 仲立人 (2) 問屋	2 2 2	<input type="checkbox"/> 仲立人の意義・契約の成立、仲立人の権利義務について理解することができる。 <input type="checkbox"/> 問屋と委託者との関係を理解することができる。 <input type="checkbox"/> 代理店の意義、代理店契約の概要について理解できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(3) 代理商	2	<input type="checkbox"/> 海上運送契約の意義および当事者、海上運送人の意義について理解することができる。	<input type="checkbox"/>		
5. 海上運送 (1) 海上運送と海上運送人	2	<input type="checkbox"/> 個品運送契約の成立、船荷証券の意義、海上運送人の責任について理解することができる。	<input type="checkbox"/>		
(2) 個品運送契約 (3) 備船契約 ---後学期末試験---	2 2	<input type="checkbox"/> 他船利用形態としての備船契約の態様および備船契約を巡る法律関係を理解することができる 項目 3 (1) ~ 5 について達成度を確認する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。			
[教科書] なし [参考書・補助教材] 六法					
[成績評価の基準] 中間・定期試験 (70%) + レポート (30%)					
[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 1-a, 4-a [教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 4-1 [JABEE との関連] 基準 1 (2) (a), 基準 1 (2) (b) [教育プログラムの科目分類] (I) ①					

Memo.....

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ B 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン		
経済学 (Economics)	担当教員	林 良平 (Hayashi, Ryohei)		
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3 階 (Tel:42-9044)		
	E-Mail	hayashi@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 (講義Ⅱ) / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (210 分)] × 15 回			
[本科目の目標] 社会をモデル化した上で, 数学を用いて演繹し, 有用な教訓を導出できるようにする.				
[本科目の位置付け] 3 年次で学習した政治・経済, 4 年次で学習した社会概説Ⅱを基礎にして, 社会選択理論, 経営管理論, 成長理論の入門レベルを総合的に学習する.				
[学習上の留意点] 本科目はスライド資料, 板書に従って行う. 授業資料は授業中に配布するほか, Moodle 上にアップロードされている. これらの資料を各自で復習に活用すること. 本科目は学修単位 [講義Ⅱ] であり, 自学自習(210 分)が学習時間として割り当てられていることに留意し, 自ら授業の予習・復習に努め, 毎時の授業内容を確実に理解することを求める. 試験においては自学自習を当然行ったものと前提して評価する.				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 投票の数理	2	<input type="checkbox"/> 民主主義のパラドクスをモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	経済学で多用される基礎数学を復習し, 十分に習得しておく. (直線と 1 次式, 放物線, 2 次関数, 最大最小, 分数関数, 平方根の関数, 累乗と累乗根, 指数関数と対数関数, 微分法) 実験の実施, 結果の発表に備え実験計画や報告準備を十分に行う.
2. 権力の数理	2	<input type="checkbox"/> 投票の重み付け方法をモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
3. 共有の数理	1	<input type="checkbox"/> 公平分配ゲームをモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
4. 分配の数理	2	<input type="checkbox"/> 分配をモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
5. 流通の数理	1	<input type="checkbox"/> 流通をモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
6. 探索の数理	2	<input type="checkbox"/> サラリーマン巡回問題をモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
7. ネットワークの数理	1	<input type="checkbox"/> 現実のネットワーク問題をモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
8. スケジュールの数理	1	<input type="checkbox"/> スケジュール管理問題をモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
9. 人口成長モデル	1	<input type="checkbox"/> 人口成長をモデル化し, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
10. ファイナンシャル数理	1	<input type="checkbox"/> 利率の計算を, 数式を用いて説明できる.	<input type="checkbox"/>	
--- 前期末 (定期) 試験 --- 試験答案の返却・解説	1	授業項目 1.~10.の達成度を確認する. 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する (非評価項目).		
[教科書] なし.				
[参考書] Peter Tannenbaum, "Excursions in Modern Mathematics", 8 th edition, Pearson Education, 2014				
[成績評価の基準] 定期試験の得点(70%) + 小テストの得点(30%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 1-a				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 1-1, 2-1				
[JABEE との関連] 基準 1(2)(a)				
[教育プログラムの科目分類] (1)①				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ B 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
政治学 (Politics)	担当教員	森田 豊子 (Morita, Toyoko)		
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL : 42-2167)		
	E-Mail	saratoko@yahoo.co.jp		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位 [講義Ⅱ] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (210 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 政治学の基礎的な理論を身につけ、実生活においてその理論を生かし、応用することができるようにする。				
[本科目の位置付け] 本科で履修した「政治経済」などで得た基礎知識をもとに、より発展的な学習を行う。				
[学習上の留意点] 現実世界で起こっていることについて興味を持ち、自ら考えて行動する習慣を身につけること。なお、本科目は学修単位 [講義Ⅱ] 科目であるため、指示内容について 200 分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 統治				
(1) 政策の対立軸	2	<input type="checkbox"/> 現代日本政治における政策の対立軸を説明できる。	<input type="checkbox"/>	政党の特徴を調べておく
(2) 政治と経済	2	<input type="checkbox"/> 市場原理と政府の介入のバランスについて考える。	<input type="checkbox"/>	政府の介入の例を調べる
(3) 鉄の三角同盟	2	<input type="checkbox"/> 日本政治における鉄の三角同盟を説明できる	<input type="checkbox"/>	日本における規制を調べる
(4) 福祉国家	2	<input type="checkbox"/> 日本の福祉について議論ができるようになる。	<input type="checkbox"/>	福祉制度の例を調べる
(5) 安全保障問題	2	<input type="checkbox"/> 集団自衛権を含めた安全保障問題について考える。	<input type="checkbox"/>	日本が戦争に参加した理由について調べておく
2. 統治機関				
(1) 議会	2	<input type="checkbox"/> 日本の国会システムと他国とのシステムとを比較検討できる。	<input type="checkbox"/>	日本の国会の基本的な制度について復習しておく
(2) 内閣	2	<input type="checkbox"/> 日本の行政についての特徴とその問題点を知る。	<input type="checkbox"/>	新聞における「今日の首相」の欄を 1 週間見ておく
(3) 官僚制	2	<input type="checkbox"/> 日本の官僚制度の特徴と問題点を説明できる。	<input type="checkbox"/>	「天下り」についての基本的な意味を調べておく
(4) 地方自治	2	<input type="checkbox"/> 現代日本の地方自治をめぐる問題について議論できるようになる。	<input type="checkbox"/>	自分の住む市町村の予算について調べておく
---中間試験---		授業項目 1、2 について達成度を確認する。		
3. 統治のプロセス				
(1) デモクラシー	2	<input type="checkbox"/> 民主主義理論の歴史的な変遷について説明できる。	<input type="checkbox"/>	民主主義の意味を調べておく
(2) 投票行動	2	<input type="checkbox"/> 日本の選挙制度を批判的観点から語れるようにする。	<input type="checkbox"/>	日本の選挙権の歴史について調べておく
(3) 世論とマスメディア	2	<input type="checkbox"/> 政治におけるマスメディアの役割について議論できるようになる。	<input type="checkbox"/>	最近あった選挙報道についての記事を集めておく
(4) 対外政策	2	<input type="checkbox"/> TPP 問題を始めとする対外貿易をめぐる問題について議論できるようになる。	<input type="checkbox"/>	TPP についての最新の新聞報道を調べておく
(5) 利益団体と政党	2	<input type="checkbox"/> 日本政治における利益団体の役割および政党の種類と役割について理解できる。	<input type="checkbox"/>	日本における利益団体および政党の HP をチェックしておく
---期末試験---		授業項目 1、2、3 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] 授業で随時プリントを配布する。				
[参考書・補助教材] 随時指示する				
[成績評価の基準] 中間・期末試験成績 (30%) + 授業中小テスト成績 (70%) - 授業態度(最大 15%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 1-a				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 1-1, 2-1				
[JABEE との関連] 基準 1(2) (a)				
[教育プログラムの科目分類] (1) ①				

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年生 ・ 後期 ・ B 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
社会概説Ⅲ(歴史Ⅱ) Introduction to Social Study Ⅲ (History Ⅱ)	担当教員	鮫島 俊秀 (Sameshima, Toshihide)		
	教員室	非常勤講師控室(2167)		
	E-Mail	gkxj3mamj@i.softbank.jp		
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位 [講義Ⅱ] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (210 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
〔本科目の目標〕 よき技術者としてだけでなく、よき市民として現代社会及び人類の未来に貢献できるに足る歴史的知識及び歴史的思考力を養うことを目標とする。				
〔本科目の位置付け〕 1、2、3、4 年次の社会科科目における学習内容を基礎とし、時間数の関係で学習し得なかったテーマの中で興味深いものを取り上げながら、郷土の歴史についても学ぶ。				
〔学習上の留意点〕 我々の生きている現代は人類の様々な営みの上に築かれたものである。現代社会を理解するためにも興味を持って講義を聴くことが肝要。また、時事問題も適宜扱っていくため、事前に新聞記事等にも目を通すなどの予習が必要。さらに、講義終了後、ノート・資料の整理等の復習を行う。なお、外部での巡検形式の授業も計画しているため、希望者多数の場合は、受講者を 20 名程度に絞る予定である。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 郷土史を学ぶための巡検	10	<input type="checkbox"/> 郷土を知るための巡検の計画・立案、準備、実行、報告及びプレゼンができる。	<input type="checkbox"/>	新聞、テレビ等のニュースをチェックする。 各授業項目について、図書館等の文献を読み、その概要を把握しておくこと。
2. 幕末から明治にかけての日本と鹿児島	4	<input type="checkbox"/> 幕末から明治にかけての日本における政治と文化、特に、鹿児島の幕末から明治の政治と文化について説明することができる。	<input type="checkbox"/>	
3. 大正から昭和にかけての日本と鹿児島	4	<input type="checkbox"/> 大正から昭和にかけての日本における政治と文化、特に、鹿児島の大正から昭和の政治と文化について説明することができる。	<input type="checkbox"/>	
4. 現代の世界	2	<input type="checkbox"/> 近代までの世界史(現代史を理解するために1、2年次未習事項のフォローアップ)、特に、1900年以降の世界史の概要を説明することができる。	<input type="checkbox"/>	
5. 歴史研究入門	4	<input type="checkbox"/> 郷土史研究の実例を題材に歴史研究の手法を説明することができる。	<input type="checkbox"/>	
6. 今を観るための現代史	4	<input type="checkbox"/> 現代社会を生きていくうえで必要なテーマ史、時事問題について理解を深め説明することができる。	<input type="checkbox"/>	
-- 期末 (定期) 試験 --		授業項目1～6について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
〔教科書〕 なし				
〔参考書・補助教材〕 なし				
〔成績評価の基準〕 定期試験(70%) + 平常テスト・レポート(30%) - 授業態度 (上限 15%)				
〔本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連〕 1-a, 4-b				
〔教育プログラムの学習・教育到達目標との関連〕 1-1, 4-1				
〔JABEE との関連〕 基準 1(2)(a), 基準 1(2)(b)				
〔教育プログラムの科目分類〕 (1) ①				

Memo

.....

.....

.....

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 後期 ・ B 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン		
社会概説 IV (Introduction to Social Study IV)	担当教員	林 良平 (Hayashi, Ryohei)		
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3 階 (Tel:42-9044)		
	E-Mail	hayashi@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義Ⅱ] / 2 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (210 分)] × 15 回			
[本科目の目標] ミクロ経済学の基本的な考え方や共通理解(コンセンサス)を学び, ミクロ経済学的な分析により現実の経済問題を説明できることを目的とする。				
[本科目の位置付け] 3 年次で学習した政治・経済, 4 年次で学習した社会概説Ⅱを基礎にして, ミクロ経済学の入門レベルを総合的に学習する。				
[学習上の留意点] 本科目はスライド資料, 板書に従って行う。授業資料は授業中に配布するほか, 学内サーバー上の共有フォルダにアップロードされている。これらの資料を各自で復習に活用すること。特に, スライド資料の後半には練習問題が掲載されているので, 必ず解くこと。 本科目は学修単位 [講義Ⅱ] であり, 自学自習(210 分)が学習時間として割り当てられていることに留意し, 自ら授業の予習・復習に努め, 毎時の授業内容を確実に理解することを求める。試験においては自学自習を当然行ったものと前提して評価する。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. ミクロ経済学入門	2	<input type="checkbox"/> 需要と供給の概念を説明できる。 <input type="checkbox"/> 不完全市場と公共部門の構造を整理できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の該当する章を読み, 概要を理解しておく。 経済学で多用される基礎数学を復習し, 十分に習得しておく。(直線と 1 次式, 放物線, 2 次関数, 最大最小, 分数関数, 平方根の関数, 累乗と累乗根, 指数関数と対数関数, 微分法)
2. 完全市場	12	<input type="checkbox"/> 消費の決定を説明し, 数値を計算できる。 <input type="checkbox"/> 企業と費用の行動を, 数値を用いて説明できる。 <input type="checkbox"/> 競争的企業の選択行動を説明できる。 <input type="checkbox"/> 労働市場の構造を整理できる。 <input type="checkbox"/> 資本市場の構造を整理できる。 <input type="checkbox"/> 競争市場の効率性を分析できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
3. 不完全市場	10	<input type="checkbox"/> 独占, 独占的競争, 寡占の形態について説明できる。 <input type="checkbox"/> 競争促進政策の意義を説明できる。 <input type="checkbox"/> 戦略的行動について, クルーノー・ナッシュ均衡の計算に基づいて説明できる。 <input type="checkbox"/> 生産物市場と不完全情報について, ゲーム理論を用いて説明できる。 <input type="checkbox"/> 労働市場の不完全性を行動経済学を用いて説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
4. ミクロ経済学と政策課題	4	<input type="checkbox"/> 環境の経済学について説明できる。 <input type="checkbox"/> 国際貿易と貿易政策について, 国際貿易論を用いて説明できる。 <input type="checkbox"/> 技術進歩の意義と効果を説明できる。 <input type="checkbox"/> 資産の運用について数値を用いて説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
--- 前期末 (定期) 試験 --- 試験答案の返却・解説	2	授業項目 1.~4.の達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] なし。 [参考書] グレゴリー マンキュー, 「マンキュー経済学 ミクロ編」, 第 3 版, 東洋経済新報社, 2014				
[成績評価の基準] 定期試験の得点 × 100%				
[本科 (準学士課程) の学習教育到達目標との関連] 1-a, 4-b [教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 1-1, 4-1 [JABEE との関連] 基準 1(2)(a), 基準 1(2)(b) [教育プログラムの科目分類] (1)①				

到達目標	1. 完全競争市場の分析ができる。 2. 独占市場の分析ができる。 3. 寡占市場の分析ができる。 4. 独占的競争市場の分析ができる。 5. 国際貿易の小国の場合について分析ができる。 6. ミクロ経済学のフロンティアについて、伝統的な経済学との違いを説明できる。		
到達基準 到達目標(番号)	理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	要学習レベル
1	現実的な状況を仮定した問題から、需要表と供給表を作成し、完全競争市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、完全競争市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、完全競争市場の限界分析ができない。
2	現実的な状況を仮定した問題から、需要表と供給表を作成し、独占市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、独占市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、独占市場の限界分析ができない。
3	現実的な状況を仮定した問題から、需要表と供給表を作成し、寡占市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、寡占市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、寡占市場の限界分析ができない。
4	現実的な状況を仮定した問題から、需要表と供給表を作成し、独占的競争市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、独占的競争市場の限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	需要表と供給表を与えられたときに、独占的競争市場の限界分析ができない。
5	現実的な状況を仮定した問題から、国際価格を導出し、輸入国となるか輸出国となるかが判断でき、限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	国際価格を与えられたときに、輸入国となるか輸出国となるかが判断でき、限界分析・均衡分析・厚生分析ができる。	国際貿易の限界分析ができない。
6	現実的な状況を仮定した問題を、情報の非対称性、政治経済学、行動経済学の理論を用いてモデル化し、評価できる。	情報の非対称性、政治経済学、行動経済学の分野が注目される理由と、伝統的な経済学との違いを説明できる。	伝統的な経済学と新しい経済学の違いを説明できない。

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 後期 ・ B 群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
体 育 (Physical Education)	担当教員	北菌 裕一 (Kitazono, Yuichi) 堂園 一 (Douzono, Hajime) 山崎 亨 (Yamasaki, Toru)	
	教員室	体育館 2 階 (TEL&FAX : 42-9065 または 42-9066)	
	E-Mail	kitazono@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義・実習 / 履修単位 / 1 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 15 回		
[本科目の目標] 運動の合理的な実践と健康についての基礎的な事項について科学的な理解を深め, これらに基づいて自ら進んで積極的なスポーツ活動への参加と, 健康の保持増進に関する問題を解決する能力を養う。			
[本科目の位置付け] 心身共に健康な技術者としての身体の基礎づくり。体育・スポーツ活動の実践を通して, 相手の立場に立ってものを考え, グローバルに活躍できる人間性の育成。			
[学習上の留意点] 教科書「運動と健康の科学」及び参考書「マイ・スポーツ」の授業に関連するところを読み理解すること。実技においては, 教材(運動場・体育館)を考えて正しい服装と, 体育用具等の管理, 安全に十分留意すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. オリエンテーション	2	<input type="checkbox"/> (1) 選択制授業のガイダンスを理解することができる。 <input type="checkbox"/> (2) AED(自動体外式除細動器)の取り扱い方法と一次救命処置が理解できる。	参考書「マイ・スポーツ」による
注) 選択制 12 : 授業項目 2~11 については, 各種目 12 時間をワンセットとして, 種目選択の機会を 2 回設定する。 従事時間合計 24 時間 (=12 時間×2 種目)。			
2. バレーボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) パス、スパイク、サービスができる。 <input type="checkbox"/> (2) 1・5 フォーメーションゲーム、審判を行うことができる。	P187-P207 の内容について、特に集団技能の練習法とチームフォーメーションを理解しておく。
3. テニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術練習: グリップ、ラケットワーク、ストローク、サービス、ネットプレイ <input type="checkbox"/> (2) ゲームの進め方、審判法、ゲーム(シングル、ダブルス)	P209-P218 の内容について、正規のシングルス、ダブルスの戦術的理解とゲームの進め方を理解しておく。
4. ソフトテニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能: ストローク、サービス、ボレーができる。 <input type="checkbox"/> (2) 雁行陣・平行陣のゲームができる。	P219-P288 の内容について、正式なルールにより、ペアで作戦を立ててのゲームを理解しておく。
5. ソフトボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能の復習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) ゲーム、審判を行うことができる。	P249-P260 の内容について、特にチームプレイの徹底を理解しておく。
6. ゴルフ	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) クラブの種類と構造、握り方を理解できる。 <input type="checkbox"/> (2) スイングの基本と練習ができる。	P261-P266 の内容について、特にプレイ上のエチケットとマナーを理解しておく。
7. サッカー	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術及びシュート練習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) 4・3・3 システムフォーメーションの理解とゲーム、審判を行うことができる。	P143-P166 の内容について、特にゲームスタイルの変遷を理解しゲームに応用できるようにしておく。
>>> 次頁へつづく >>>			

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ A 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英語 B (English B)	担当教員	嵯峨原 昭次 (Sagahara, Shoji) 新 福 豊実 (Shinfuku, Toyomi) 佐 藤 哲三 (Sato, Tetsuzo)		
	教員室	嵯峨原: 都市環境デザイン工学科 3 階 (TEL: 42-9062) 新 福: 学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167) 佐 藤: 学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	嵯峨原: sagahara@kagoshima-ct.ac.jp 新 福: 佐 藤:		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義 I] / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (60 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 多くの企業や公的機関が英語能力を判定する手段として用いる英語資格試験 TOEIC における実力の養成を目指し、ひいては実社会で役に立つ英語の習得を目標とする。				
[本科目の位置付け] 4 年次までに習得した語彙・文法などの基礎知識の定着を図り、リーディング・リスニング力を強化することによって総合的な英語力を高める。TOEIC の模擬問題に数多く当たって試験問題に慣れ、TOEIC スコアのアップを目指す。				
[学習上の留意点] 予習・復習を十分に行い、語彙・イディオム・構文の習得に努めること。リスニングにおいてはさらに補助教材を用い、リスニング力を強化すること。なお、本科目は学修単位 [講義 I] 科目であるため、指示内容について 60 分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
Unit 1 Restaurant	2	<input type="checkbox"/> 動詞① 現在と過去・進行時制を使って表現できる。	<input type="checkbox"/>	各 Unit の ・演習問題を解く。 ・語彙・イディオム・構文を辞書・文法書で調べて覚える。 ・リスニングの練習をする。
2 Hotel	2	<input type="checkbox"/> 動詞② 未来時制・完了時制を使って表現できる。	<input type="checkbox"/>	
3 Shopping	2	<input type="checkbox"/> 動詞③ 受動態を作ることができる。	<input type="checkbox"/>	
4 Financing	2	<input type="checkbox"/> 動詞④ 使役の用法がわかる。	<input type="checkbox"/>	
5 Hospital	2	<input type="checkbox"/> 助動詞① can, may, must を使うことができる。	<input type="checkbox"/>	
6 Airport	2	<input type="checkbox"/> 助動詞② 仮定法の表現を使うことができる。	<input type="checkbox"/>	
7 Transportation	2	<input type="checkbox"/> 準動詞① 不定詞と動名詞の区別がわかる。	<input type="checkbox"/>	
-- 前期中間試験 --		授業項目 1~7 について達成度を確認する		
Unit 8 Sightseeing	2	<input type="checkbox"/> 準動詞② 現在分詞と過去分詞の区別がわかる。	<input type="checkbox"/>	各 Unit の ・演習問題を解く。 ・語彙・イディオム・構文を辞書・文法書で調べて覚える。 ・リスニングの練習をする。
9 Office Issues	2	<input type="checkbox"/> 形容詞と副詞を正しく使うことができる。	<input type="checkbox"/>	
10 Business	2	<input type="checkbox"/> 冠詞と名詞の関係がわかる。	<input type="checkbox"/>	
11 Sports Events	2	<input type="checkbox"/> 前置詞を使うことができる。	<input type="checkbox"/>	
12 Computers	2	<input type="checkbox"/> 接続詞を使うことができる。	<input type="checkbox"/>	
13 Personnel	2	<input type="checkbox"/> 関係詞を使うことができる。	<input type="checkbox"/>	
14 Hiring and Training	2	<input type="checkbox"/> 語法と時制の一致の捉え方がわかる。	<input type="checkbox"/>	
-- 前期期末試験 --		授業項目 8~ 14 について達成度を確認する		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を自分の課題として把握する (非評価項目)		
[教科書] Overall Skills for the TOEIC Test 石井隆之他 著 成美堂				
[参考書・補助教材] TOEIC 関連プリント (必要時に配布)				
[成績評価の基準] 中間・期末試験成績 (70%) + 平常点 (30%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連] 2-b, 4-b				
[教育プログラムの学習・教育到達目標との関連] 2-3, 4-3				
[JABEE との関連] 基準 1(2)(a), 基準 1(2)(f)				
[教育プログラムの科目分類] (1) ②				

Memo

平成28年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
比較文化論 A (Comparative Culture A)	担当教員	坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko)		
	教員室	都市環境デザイン工学科棟3階 (TEL: 42-9067)		
	E-Mail	sakamoto@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位〔講義I〕 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (90分) + 自学自習 (60分)〕 × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
〔本科目の目標〕 グローバルな視点に立ち, また相手の立場に立つてものを考えることができる技術者を指すために, 自文化と異文化について理解し, 異文化を受け入れるために必要な知識と価値観を養う。				
〔本科目の位置付け〕 比較文化概論Bと並行で開設される。				
〔学習上の留意点〕 毎回, 小レポートを提出すること。国内外の文化や習慣, 歴史に興味関心を持って受講することが好ましい。なお, 本科目は学修単位〔講義I〕科目であるため, 指示内容について60分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。				
〔授業の内容〕				
授業項目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 文化とは	3	<input type="checkbox"/> 文化の定義について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	次回の学習内容に備え, 異文化及び自文化についての既習範囲の学習内容を自分なりの視点で整理する。
2. 異文化とは	3	<input type="checkbox"/> 異文化の定義と異文化体験の背景について理解することができる。 <input type="checkbox"/> 異文化と接触する事にまつわる事柄と, その対応パターンについて理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
3. 国際的異文化との接触	3	<input type="checkbox"/> 国際的な異文化体験の様々な背景について理解し, 国際的異文化接触に際してその変容や葛藤について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
4. 国内的異文化との接触	3	<input type="checkbox"/> 国内での異文化体験の様々な背景について理解し, 国内での異文化接触に際してその変容や葛藤について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
5. 多文化を生きる	4	<input type="checkbox"/> 多文化社会という概念について理解し, 多文化社会の視点から異文化を理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
6. 「自由選択型社会」を生きる	4	<input type="checkbox"/> 自由選択型社会という概念について理解し, 自由選択型社会の視点から異文化を理解することができる。	<input type="checkbox"/>	
7. ネット社会を生きる	4	<input type="checkbox"/> ネット上における社会について理解し, 考えをまとめることができる。	<input type="checkbox"/>	
8. 異文化を生きる	4	<input type="checkbox"/> 社会の中の異文化と向き合う際の視点について考えをまとめることができる。	<input type="checkbox"/>	
--- 前期期末試験 ---		授業項目 1-7 について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を自分の課題として把握する (非評価項目)。		
〔教科書〕 なし				
〔参考書・補助教材〕 なし				
〔成績評価の基準〕 定期試験成績 (60%) + レポート (40%) - 授業態度 (上限 20%)				
〔本科 (準学士課程) の学習・教育到達目標との関連〕 4-b				
〔教育プログラムの学習・教育到達目標との関連〕 1-1, 4-3				
〔JABEE との関連〕 基準 1(2)(a)				
〔教育プログラムの科目分類〕 (I)①				

Memo

平成 28 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ B 群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科		
比較文化概論 B (Comparative Culture B)	担当教員	保坂 直之 (Hosaka, Naoyuki)		
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3F (TEL : 0995-42-9064)		
	E-Mail	hosaka@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義 I] / 1 単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分) + 自学自習 (60 分)] × 15 回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 日本と欧州の文化を比較しながら、戦後欧州の社会と文化について学び、それによって異文化を理解するための方法・他者に自国文化を理解してもらう感覚を養う。特に「B・欧州」では文化の構造的 (全体的) 理解に焦点をあわせている。映画やニュース映像などの資料も導入するが、「グローバル化による構造的変化は可能か」という問題設定が特徴に授業の背景をなしている。				
[本科目の位置付け] 外国語の学習の目的は、本来言葉を知ることを通してその背後にある文化を学ぶことにある。本科目は通常の外国語授業では十分に時間が割けないこうした側面のみ集中して講義する。英語・ドイツ語等の基礎的知識があると理解がしやすい場合があるであろう。比較文化 A と並行して開講する。				
[学習上の留意点] 例えばドイツの学校の授業方法や雰囲気を理解するために、ディスカッションやグループワークを実施する場合もある。受身的な知識を得ることよりも、他国の人と中身のある話題で話し合えるようになることが、本来のこの科目の目的である。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時間数	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1 イントロダクション : 多民族社会としての欧州	3	<input type="checkbox"/> 1 「多民族社会」という言葉で表わされる欧州の実情を踏まえて意見を言える。	<input type="checkbox"/>	配布資料等をあらかじめ読んで、予習しておくこと
2 異文化の構造的理解 1 : 食文化	2	<input type="checkbox"/> 2 日常生活について、異文化としての欧州文化を構造的に理解して意見を言える。	<input type="checkbox"/>	
3 異文化の構造的理解 2 : 学校での授業と ディスカッションの伝統	2	<input type="checkbox"/> 3 日常生活や社会のありようについて、異文化としての欧州文化を構造的に理解して意見を言える。	<input type="checkbox"/>	
4 異文化の構造的理解 3 : ドイツの政治と社会と弁論術	2	<input type="checkbox"/> 4 日常生活や社会のありようについて、異文化としての欧州文化を構造的に理解して意見を言える。	<input type="checkbox"/>	
5 労働市場の開放 : 移民の問題	6	<input type="checkbox"/> 5 労働市場の開放の問題について、日本の現状も踏まえながら意見が言える。	<input type="checkbox"/>	
<中間試験>		1~5 について理解の達成度を確認する。		
6 日本と比較する : 音楽・美術・モード	3	<input type="checkbox"/> 6 自国の状況と比較しつつ、欧州の現代の文化や社会の問題を理解して意見を言える。	<input type="checkbox"/>	配布資料等をあらかじめ読んで、予習しておくこと
7 日本と比較する : 戦争責任問題と徴兵制	9	<input type="checkbox"/> 7 自国の歴史問題を欧州と比較しながらディスカッションできる。	<input type="checkbox"/>	
8 まとめに代えて : 自国を説明するための 25 の質問と回答	2	<input type="checkbox"/> 8 自国の将来の問題を欧州と比較しながらディスカッションできる。	<input type="checkbox"/>	
<期末試験> <答案返却・解説>		6~8 について理解の達成度を確認する。 各試験での教員からのフィードバックを元に理解と批評能力を深める。	<input type="checkbox"/>	
[教科書] プリントで配布 (資料や執筆したレポート等のファイリングをお願いする)				
[参考書・補助教材] 読書案内等は随時授業中に行なう				
[成績評価の基準] 定期試験 (レポート試験、2 回) 100% - 授業態度等 (10%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 4b				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 1-1, 4-3				
[JABEE との関連] 基準 1(2)(a)				
[教育プログラムの科目分類] (I)①				

到達目標	1. 異文化が共存する欧州の実情を理解した上で自分の意見が言える。 2. 労働市場の開放の問題について、日本の現状も踏まえながら意見が言える。 3. 自国の将来の問題を欧州と比較しながらディスカッションできる。 4. 5. 6.		
到達基準 到達目標 (番号)	理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	要学習レベル
1	異文化が共存する欧州の実情を理解した上で自分の意見が言える。	異文化が共存する欧州の実情を理解できている。	異文化が共存する欧州の実情を理解できていない。
2	労働市場の開放の問題について、日本の現状も踏まえながら意見が言える。	日本の労働市場の開放の現状を理解できている。	日本の労働市場の開放の現状を理解できていない。
3	自国の将来の問題を欧州と比較しながらディスカッションできる。	自国の将来の問題を欧州と比較しながら自分の意見が言える。	自国の将来の問題を欧州と比較できない。
4			
5			
6			